



# 日本甲虫学会 Coleopterological Society of Japan

HP : <http://kochugakkai.sakura.ne.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/coleopterology>

Twitter : ハッシュタグ [#甲虫学会](#)

## <会長より季節のご挨拶>

### つくば実験植物園の甲虫：秋冬編

日本甲虫学会 会長 野村周平

先に「春夏編」と銘打って、つくば実験植物園の甲虫をご紹介してしまったので、「秋冬編」をやらざるを得なくなりました。冬枯れの植物園に出てみたところで、そうそう面白い虫にぶつかるものではありません。しかし、せっかく乗り掛かった舟なので、少し春先を交えて、出くわしたものをご紹介してみましよう。



写真：左：ムツボシテントウ（つくば東大通り）；右：ヒメツチハンミョウ（筑波実験植物園）

朽木や倒木の下側を探すと、モトヨツコブゴミムシダマシやクロミジンムシダマシを見出すことができます。天气が良いと、樹幹にヒメアカボシテントウが這っていることがあります。植物園の外に出て、つくば市の東大通りに沿った街路樹のケヤキを見てみると、鱗片の下に結構甲虫が越冬しています。ナミガタチビタマムシはかなり個体数も多くみられるものです。数は少ないですが、ムツボシテントウ（写真左）が潜んでいることもあります。

園内にはあちこちに日当たりのいい草地が作ってあります。このような場所に気を付けていると、春先にヒメツチハンミョウ（写真右）を見つけることができます。ヒメツチハンミョウの幼虫は、ハナバチがやってくるような花の中にひそんで、訪花したハナバチの身体にもぐりこみ、巣に連れ帰ってもらって、その巣に寄宿するという、たいへん不思議な生態をもった昆虫です。3~4月、この虫が園内に見られるようになると、昆虫の季節はもうすぐそこにやってきました。

## 甲虫学会の調査観察例会「佐渡島」6月4・5日 参加者募集開始

経験豊かな方々と現場で懇親できるチャンスです。多くの方のご参加をお待ちしております。**会員外の参加も歓迎**いたします。日本海の新鮮な幸に美酒・・・調査・観察、懇親を楽しみましょう！ **<申込〆切：5月15日>**

※くわしくは学会和文誌「さやばね」最新号誌上およびホームページにも掲載しています。  
<<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/event/saisyu/saisyu.html>>。

- 
- 和文誌「さやばね」New Seriesの第21号が発行されました。  
目次PDFはホームページに掲載しています。  
<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/publication/sayabane/sayabane21.pdf>
  
  - 名古屋例会報告（2月28日）  
<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/event/nagoya/nagoya.html>
  
  - 大阪例会報告（3月26日）  
<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/event/osaka/osaka.html>
- 

### 住所変更お知らせのお願い

異動・転居の季節です。必ず、会員・会計担当（長谷川道明：E-mail: [hasegawa-michi@msi.biglobe.ne.jp](mailto:hasegawa-michi@msi.biglobe.ne.jp)）あて、お知らせ願います。

---

### 日本甲虫学会 ニュースレター 第3号

2016年4月9日発行 ※本ニュースレターは主にHPの更新履歴に基づき、プレーンテキストにてご希望の方に不定期でメール配信します。お申込は下記サイトからどうぞ。過去の更新履歴も、PDFでご覧いただけます。配信停止ご希望の方はご連絡ください

<http://kochugakkai.sakura.ne.jp/newsletter/newsletter.html>

（web担当：初宿 [shiyake@mus-nh.city.osaka.jp](mailto:shiyake@mus-nh.city.osaka.jp)）